

核医学施設向けセフティキャビネット 定期検査



* 定期検査

バイオハザード対策用クラスIIキャビネットの日本工業規格JIS K3800解説では、**年1回定期検査**を実施するように明記されています。セフティキャビネットは有害物質を封じ込めることにより作業者と周辺環境を守る装置です。そのため、機器が何らかの原因により十分な性能を発揮できないような状況に陥ると安全を確保することができません。作業者や周辺環境の安全を確保する為にも定期検査の実施をお願いいたします。

該当機種

<核医学施設向けセフティキャビネット>

- ・SC-1102A2CTC ・SC-1302A2CTC ・SC-1452A2CTC ・SC-1802A2CTC
- ・SC-1302B2CTC ・SC-1802B2CTC

検査内容

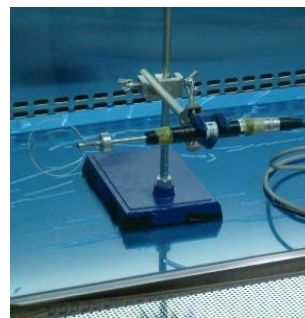
<年1回>

- ・HEPAフィルタの透過率検査
- ・吹出し風速検査
- ・流入風速検査

<数年に1回推奨>

- ・密閉度検査

その他オプション: 照度検査、紫外線強度検査など



その他

- ・フィルタ交換作業

※取外したフィルタは放射性廃棄物となりますので、公益社団法人日本アイソトープ協会にお引渡し下さい。

機器を安全にご利用頂く為にも是非、定期検査のご検討を宜しくお願い致します。